

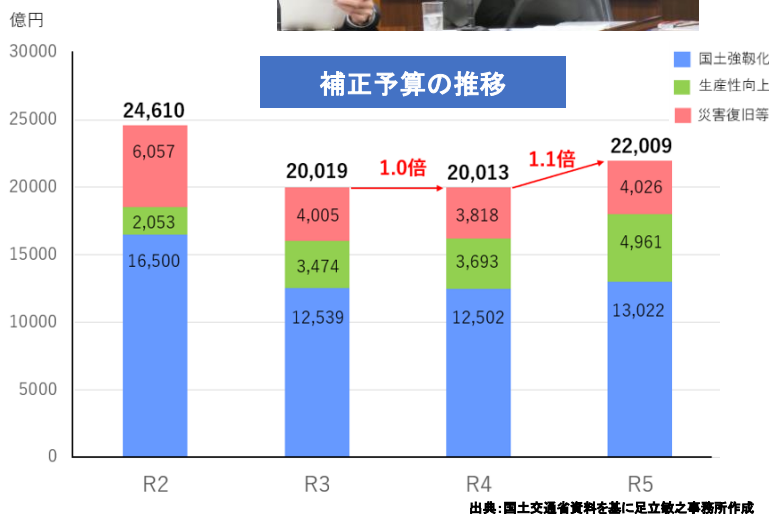
11月29日(水)、2兆2千億円の公共事業予算を含む令和5年度補正予算が成立しました。

これに先だって、11月17日(金)に開催された参議院の災害対策特別委員会において私が質疑をさせていただきました。

まず、令和5年度補正予算案における公共事業予算の編成の考え方について、財務省の寺岡主計局次長に質問し、資材価格の高騰などを考慮し、総額として対前年約2000億円増額の2兆2009億円を計上、うち災害復旧分として4026億円、生産性向上分として4961億円、国土強靱化分として1兆3022億円を計上しているとのご答弁をいただきました。

続いて、今後の防災・減災、国土強靱化の推進のために必要な予算の確保について、松村祥史国土強靱化・防災担当大臣にご決意を伺い、国土強靱化対策の効果により災害による被害が軽減されていると聞く、今後、改正された国土強靱化基本法に基づき、早期に「実施中期計画」を取りまとめ、切れ目なく継続的かつ安定的に予算を確保するよう勤めたい、とご答弁いただきました。前向きなご答弁をありがとうございました。

参議院議員 **足立敬之**



令和5年度補正予算の成立に先立ち11月27日(月)、28日(火)の両日、参議院予算委員会で、総括質疑を行いました。

私は、昨年に続き今年も予算委員会の理事を拝命しており、早期に補正予算案の採決が行えるよう、調整に奔走いたしました。

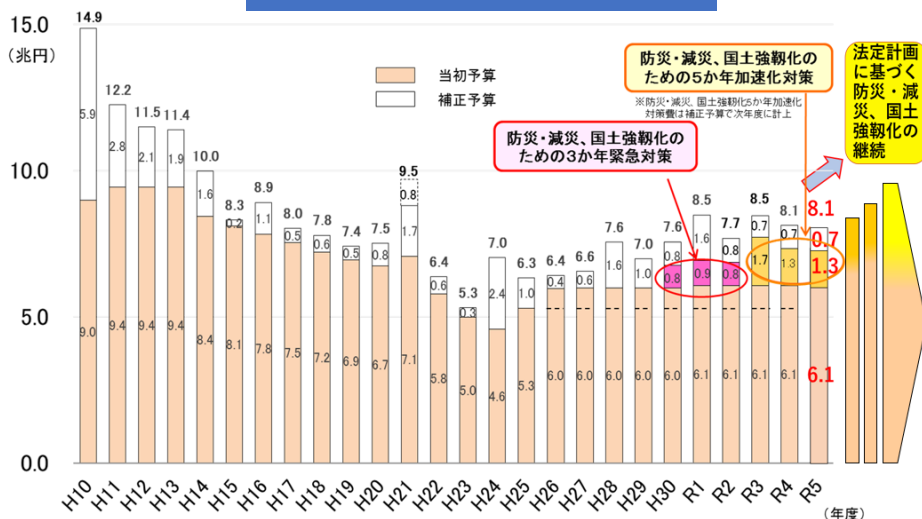
おかげさまで、11月29日(水)、参議院予算委員会で締めくくり総括質疑の後、令和5年度補正予算案を、賛成多数で可決しました。

続いて、同日の参議院本会議で令和5年度補正予算案の採決に当たり登壇し、賛成討論を行いました。初めての経験です。補正予算案には防災・減災、国土強靱化等に必要な公共事業予算を確保しており、「インフラの再生なくして、日本の再生なし」と、その必要性を強調させていただきました。ありがとうございました。

その後、補正予算案は自民、公明、日本維新の会、国民民主党の賛成多数で可決し、成立いたしました。皆さまにはご支援いただき、ありがとうございました。

今後、国土交通省により配分が行われ、皆様の手許に届いていくこととなります。ご期待ください。

国の公共事業予算の推移



インフラの再生なくして、日本の再生なし

日本と韓国の交通インフラ整備水準

		日本		韓国	
道路	国土面積当たりの高速道路延長 (km/100km ²)	1.85	2.98(暫定2車線を含む)	4.18	
港湾	主要港湾における16m以深コンテナバース数	7	京浜港	26	釜山港
空港	主要国際空港の滑走路本数/合計延長(m)	2/6,500	成田国際空港	3/11,500	仁川国際空港

出典：国土交通省資料

我が国の交通・物流インフラの整備水準は、欧米諸国のみならず、韓国に比べても大きく遅れをとっているといえます。

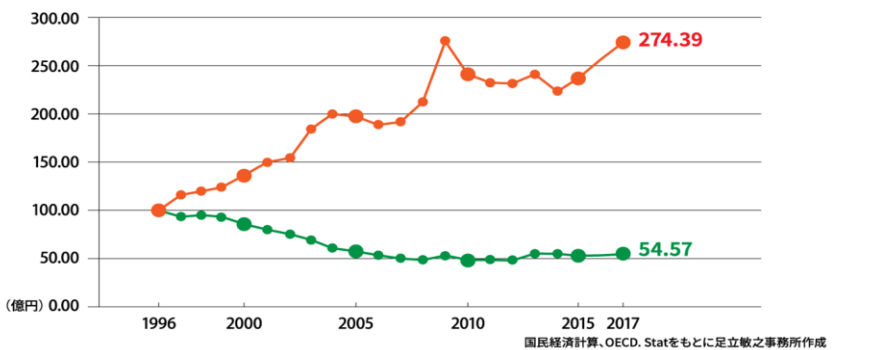
例えば、国土面積100km²あたりの高速道路延長は、韓国の4.18kmに対して、高速道路とはいえない暫定2車線区間を除くとわずか1.85kmですし、代表的な港湾のバース数や空港の滑走路についても、韓国に比べ大きく見劣りしています。

このような差が生まれている背景には、1996年以降、韓国が公共投資を3倍近くに拡大してきたのに対して、我が国は半分近くに減らしたことがあると考えます。この結果が日本と韓国のインフラの整備水準の差に繋がっているといえます。

諸外国と比較して災害が頻発する脆弱な国土を建て直すとともに、諸外国に比べて貧弱な我が国の交通・物流インフラの整備を推進し、我が国の国際競争力を高め、経済成長を後押しするためには、公共投資の拡大が不可欠と考えます。

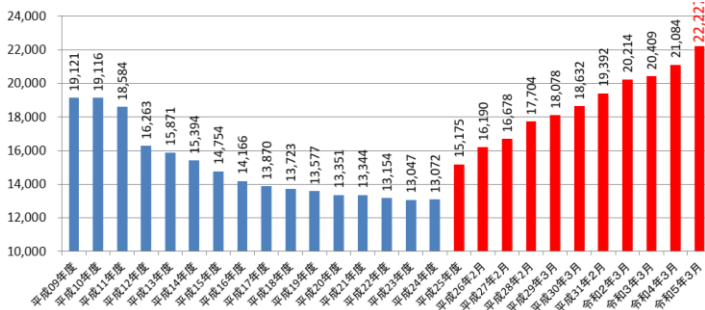
日本と韓国の公共投資

一般政府総固定資本形成の推移 (1996年を100とした指数)

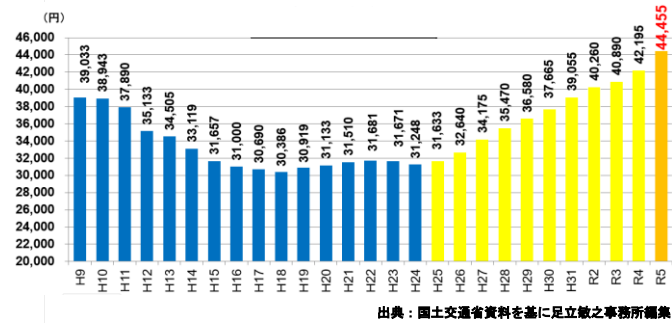


建設産業の再生なくして、日本の再生なし

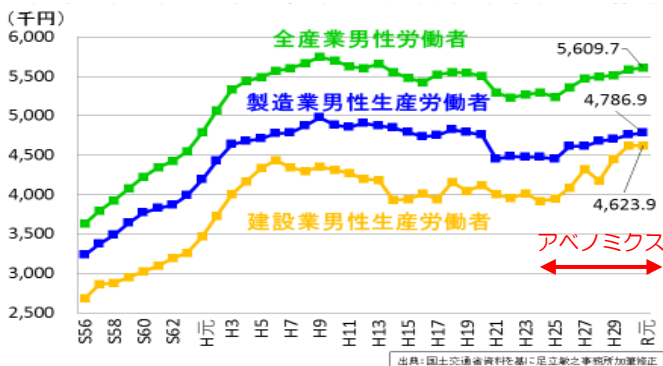
公共工事設計労務単価の推移



設計業務委託等技術者単価の推移



建設業と他産業の男性生産労働者賃金の推移



建設産業の賃金については、アベノミクス以降の公共事業予算の拡大と歩調を合わせるように、公共工事の設計労務単価や設計業務委託等の技術者単価は11年連続で上昇してきました。まさに、建設産業分野の賃金は、アベノミクスにより押し上げられてきたと言えます。今後も、建設産業分野の賃金アップのためには、アベノミクスの継続、公共投資の拡大が必要です。

来年1月からの通常国会で審議される令和6年度予算とあわせ、公共事業予算の増額を実現していくことが重要と考えますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

<http://www.adachi-toshiyuki.jp>

TEL03-6550-0501

後援会会報 2023.12